

塗布方法

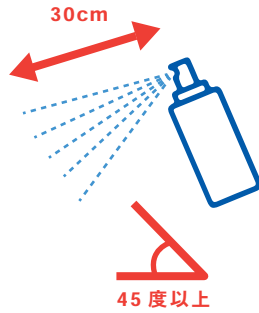
① コーティングの準備



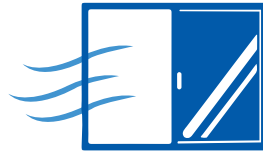
水拭きで
汚れや油分を除去

※汚れが落ちないときは
中性洗剤で

② スプレーコーティング



③ 乾燥



30 ~ 60 分

※ただし拭き掃除は
24 時間後から

① コーティングの準備

まず、**コーティングしたいものの表面の汚れを落とします。**

油分や汚れが残っているとコーティングがきちんと定着しません。

きれいな布で水拭きして、**水分が乾いたら OK** です。

水拭きで汚れが落ちない場合は中性洗剤などで落としてから、水拭きしてください。

その際洗剤が表面に残らないようにしてください。

② スプレー コーティング のしかた

目立たない部分に軽くスプレーして乾かし、仕上がりを確認してから全体にスプレーしてください。

吹きかける量の目安は表面が軽くしめる程度です。

特に、吸水性の無い硬い表面には、かけすぎにご注意ください。少しずつ薄く重ねてスプレーすることをおすすめします。万が一かけすぎて液だれした場合は、きれいな布や濡れタオルなどですぐに拭き取っていただき、乾燥後に再度軽くスプレーしてください。

スプレーする際は、換気の良い場所で対象物から **30 cm くらい離してスプレー** してください。スプレー缶を振ったり、45 度以上傾けて使用すると、ガスだけが抜けて使いきれなくなる原因となりますのでご注意ください。



45度以上
傾けない!



缶を
振らない!

※ガスが抜けて使い切ることが
できなくなります!!

③ 乾燥

スプレーした後は、**触らずに十分に乾かすことが、コーティングする上での一番のポイント**となります。通常 30 分から 1 時間程度で表面が乾燥しますので、表面が乾燥したら触ることができます。ただしコーティングした面を拭き掃除するのはスプレーしてから 24 時間後に行ってください。

④ コーティング後のお手入れ

効果をより長持ちさせるために、コーティング表面のお手入れは清潔な布で乾拭き、または、水拭きしてください。特に汚れている場合は、中性洗剤の使用をおすすめします。

下記の掃除方法は避けてください。もし行った場合は再度スプレーしてください。

- 強アルカリ (ph12 以上) の薬剤、洗剤 (漂白剤の原液やカビ取り用洗剤、高濃度の次亜塩素酸ナトリウムなど) の使用は避けてください。
- 表面を削るスチールウールやたわしなどの掃除用具や研磨剤入りの洗剤などは避けてください。
- 消毒用のアルコール、次亜塩素水、亜塩素酸水、界面活性剤 (台所用中性洗剤) を使用できます。ただし、アルコールによって溶けるプラスチック素材などに対しては、アルコールの使用は避けてください。

効果持続の目安

接触頻度に合わせて定期的にスプレーしてください。

- ドアノブやボタン類などの接触頻度の高い箇所や
ウレタン、プラスチックなどの柔らかい素材 …………… 1ヶ月～3ヶ月
- 洗わない布製品や壁など接触頻度が低い箇所 …………… 6ヶ月～12ヶ月

注意が必要な素材

- 水分を嫌う精密機器やコンセント、美術・宝飾品などへの使用は避けてください。
- 銀、銅、真鍮など変色を起こしやすい金属への使用は避けてください。
- 食べ物、食器、動物、植物には直接使用しないでください。
- 紙製品は水分で破れたり、水染みが残る場合があるため使用を避けてください。
- 撥水加工してあるものや、水分を嫌うスエードなどの素材への使用は避けてください。
- ガラス製品、鏡は他のコーティングが施されている場合があり風合いが変化する可能性があります。使用を避けるか、目立たない場所で試した上でご使用ください。

【取扱い上の注意】

● あらかじめ目立たない部分で試し、縮み、しみ、色落ちなどを起こさないか確認してから使用してください。● 誤ってスプレーした場合は速やかに濡れタオルで拭き取ってください。● スプレー時はマスクを着用してください。● 通常の使用で人体に害はありませんが、誤って飲み込んだ場合は医師の診断を受けてください。● 目に入った場合はすぐに水で洗い流し、医師の診断を受けてください。● 直射日光を避け、子供の手の届かない涼しい場所に保管してください。● 不燃性の窒素ガスを使用していますが、加圧されている製品のため、温度が40度以上となる所に置かないでください。また火の中に入れてください。